



谷戸沢処分場は、昭和59年から14年間にわたり、多摩地域の廃棄物を埋め立てていた最終処分場です。平成10年に埋立を終了した後も、循環組合では継続して適切な維持管理を行っています。

22ヘクタールにもおよぶ広大な埋立跡地は、現在は草原となっており、四季を通じてさまざまな動植物を目にすることができます。長期の生態モニタリング調査では、昆虫類約1300種、鳥類約100種が確認されています。

このように自然回復の進む谷戸沢処分場ですが、その安全性が将来にわたって確認されるまで、今後も適切な管理を行い、見守っていきます。



秋にはスキの群生が見られる谷戸沢処分場(平成18年11月撮影)。

見学会を受け入れています。

順調に自然が回復しています

## 日の出だより NO.32

### つつつる温泉でお正月を過ごしませんか？

日の出町の「つつつる温泉」は、日の出山頂からの初日の出をご覧になる方のために、元旦朝9時より営業します。感動的な御来光を拝んだ後は、温泉に入って心も体もリフレッシュ、新しい気持ちで新年を迎えてみてはいかがでしょうか。「入ってつつつる、出てほかほか、ひと風呂浴びれば長生き10年、重ねて入れれば若返る」のキャッチフレーズで親しまれている癒しの温泉に、ぜひお越しください。



お風呂は和風と洋風の2種類。写真の和風露天風呂は奇数日は男性、偶数日は女性の入れ替え制。

**年末年始の営業**  
年末：12月26日(火)～31日(日)は休館  
年始：1月1日(祝)は9時～17時  
1月2日(火)からは通常営業10時～20時

**お正月のイベント**  
1月1日(祝)～1月3日(水)  
近隣酒蔵より、できたて直送の“酒粕”無料配布  
※先着順、各日300名の数量限定  
ちびっこお菓子の詰め合わせをプレゼント  
※先着順、各日200名の数量限定  
1月2日(火)  
地元、報徳(ほうとく)囃子保存会による新春お囃子(午前・午後)

**生涯青春の湯 ひので三ツ沢つつる温泉**  
TEL.042-597-1126 日の出町大野4718  
営業時間 / 10時～20時(受付は19時位まで)  
定休日 / 火曜(祝日の場合は翌日)  
1月2日は火曜ですが通常営業します  
入館料金 / 大人800円(3時間)  
子供400円(未就学児は無料)  
交通機関 / JR武蔵五日市駅より  
つつつる温泉行きバスで約20分  
ホームページ  
<http://www.gws.ne.jp/home/onsen/>

## 組合議会の報告

組合の議員は、多摩地域25市1町の議会議員の中から選出されています。平成18年第2回組合議会定例会が10月30日に開かれ、以下の案件について審議しました。

### 平成18年第2回組合議会定例会付議案件及び結果

番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第10号	平成17年度東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合一般会計歳入歳出決算の認定について	平成18年10月30日	認定
議案第11号	東京たま広域資源循環組合職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の全部を改正する条例	平成18年10月30日	可決
議案第12号	東京たま広域資源循環組合の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の全部を改正する条例	平成18年10月30日	可決
議案第13号	廃棄物広域最終処分場建設基金条例の一部を改正する条例	平成18年10月30日	可決
議案第14号	平成18年度東京たま広域資源循環組合一般会計補正予算(第1号)	平成18年10月30日	可決
議案第15号	土地の取得について	平成18年10月30日	可決
陳情第2号	西多摩郡日の出町二ツ塚処分場内エコセメント化施設からの異臭と思われる臭いの原因究明と対策及び緊急時の連絡窓口の徹底を求める陳情	平成18年10月30日	不採択
陳情第3号	日の出町「エコセメント化施設」の安全操業のために第三者機関による監視体制をつくることを求める陳情	平成18年10月30日	不採択
陳情第4号	二ツ塚処分場内エコセメント化施設の稼働状況の「住民説明会」を求める陳情	平成18年10月30日	不採択

ホームページをご覧ください  
<http://www.tama-junkankumiai.com>

循環組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先  
TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449  
「たまエコニュース」の内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手持ちFAX、電子メールでお聞かせください。  
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内  
東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係  
【メールアドレス】 [sjkumiai@tama-junkankumiai.com](mailto:sjkumiai@tama-junkankumiai.com)

# 多摩400万人のごみ情報紙

第4回発行：平成18年12月発行 VOL.40  
Dec.2006  
※2006年7月から「処分組合ニュース」が「たまエコニュース」になりました。

# たまエコニュース

発行：東京たま広域資源循環組合

【事務局】〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449  
ホームページ <http://www.tama-junkankumiai.com> メールアドレス [sjkumiai@tama-junkankumiai.com](mailto:sjkumiai@tama-junkankumiai.com)

循環組合組織団体

八王子市	昭島市	東村山市	清瀬市	西東京市
立川市	調布市	国分寺市	東久留米市	瑞穂町
武蔵野市	町田市	国立市	武蔵村山市	
三鷹市	小金井市	福生市	多摩市	
青梅市	小平市	狛江市	稲城市	
府中市	日野市	東大和市	羽村市	

循環組合は組織団体からの負担金で運営されています

### 「循環組合」とは…?

二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町の皆さまの協力を得ながら、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみの焼却灰をエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用。また、不燃ごみの埋立処分を行っています。皆さまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

### 主な記事

- 【1面】まもなくエコセメントが私たちの町で活躍します
- 【2・3面】ごみゼロが目標!! ごみ減量を徹底しよう
- 【4面】谷戸沢レポート、日の出だより、循環組合の動き など

# 物質循環を実現する新たな一歩 まもなくエコセメントが私たちの町で活躍します

循環組合では、可燃ごみの焼却灰を主原料としてセメントをつくる「エコセメント事業」に取り組んでいます。本年7月には二ツ塚処分場内の「東京たまエコセメント化施設」が本格稼働を開始し、現在、順調にエコセメントの製造、出荷が行われています。

### 環境先進地域・多摩のリサイクルをさらに進めます

循環組合では、以下の3つの目的を推進するため、自治体では初となるエコセメント事業に取り組んでいます。

- ①リサイクル先進地域・多摩のさらなるリサイクル推進
- ②二ツ塚処分場を長く有効に活用
- ③安全な埋立対策のさらなる推進

エコセメントは、可燃ごみの焼却灰を主な原料としてつくられる新しいタイプのセメントです。

これまで埋め立てられていた焼却灰をエコセメントの原料として再利用することで、処分場の使用期間を大幅に延長できます。また、エコセメントとして道路や建物などの建設に利用されることで、全国に先駆けた新たな物質循環のモデルとして、多摩地域のリサイクルをさらに進めることができます。

### エコセメントは幅広く利用されていきます

「東京たまエコセメント化施設」が本年7月より本格的な稼働を開始しました。この施設は、1日平均約300トンの焼却灰を処理し、約430トンのエコセメントを生産、出荷します。エコセメントは、日本工業規格(JIS)に規定され、製造過程や製品として利用する際にもその品質及び安全性が確認されています。施設では現在、安全の確保や環境の保護に万全の配慮をし、順調にエコセメントの製造を行っています。

出荷されたエコセメントは、生コンクリートのほか、道路の敷石や点字ブロック、側溝用のU形、L形ブロックなどの二次製品への加工が進められています。今後、各自治体での利用が見込まれており、道路設備や建築資材など、私たちの生活の中で幅広い用途に使用されていきます。



エコセメントの出荷の様子(平成18年11月撮影)。

「現在、すでに生産されたエコセメントで、U形側溝などさまざまな製品がつくられています。今後はいろいろな用途で利用されていきます。」と石川良一管理者(稲城市長)。

### 施設の見学会やPR活動を行っています



循環組合では、エコセメントの利用方法や安全性について、多くの皆さんに理解を深めていただくため、さまざまなPR活動を行っています。

10月21・22日には「いなぎ市民まつり」(稲城市)、11月4・5日には「日の出町産業まつり」(日の出町)、12月3日には「国分寺環境まつり」(国分寺市)、「昭島市環境フェスタ」(昭島市)で、

エコセメントを使った製品やパネル等を展示し、エコセメント技術を紹介しました。

これからも多摩地域のイベントなどで出展していく予定です。また、処分場見学会においてもエコセメント化施設の見学を実施しており、施設の安全性や管理体制、エコセメントの製造工程等を説明しています。



「国分寺環境まつり」(国分寺市)でPR活動を展開。

# 多摩25市1町で力を合わせ、資源循環型社会の実現をめざす ごみゼロが目標!! ごみ減量を徹底しよう

日の出町のご協力のもと、循環組合では処分場の管理運営に取り組んでいます。限りある処分場を有効に利用していくためにも、多摩地域のみなさんとともに、資源循環型社会づくりを推進していきます。



## 二ツ塚処分場は約43%の埋立が終了しました

### 平成17年度 組織団体別廃棄物搬入容量及び前年度比

組織団体	平成17年度計 (m <sup>3</sup> )	平成16年度計 (m <sup>3</sup> )	前年度比増減 (m <sup>3</sup> )	前年度比増減率 (%)
八王子市	16,943	19,125	-2,182	-11%
立川市	5,618	5,809	-191	-3%
武蔵野市	2,966	3,283	-317	-10%
三鷹市	2,031	3,113	-1,082	-35%
青梅市	3,723	4,224	-501	-12%
国分寺市	3,446	3,623	-177	-5%
昭島市	2,799	2,713	86	3%
調布市	3,247	3,839	-592	-15%
町田市	11,023	11,191	-168	-2%
小金井市	3,801	4,040	-239	-6%
小平市	4,488	4,597	-109	-2%
日野市	4,528	4,605	-77	-2%
東村山市	5,025	4,496	529	12%
国分寺市	2,650	2,703	-53	-2%
国立市	990	1,029	-39	-4%
福生市	1,813	1,852	-39	-2%
拍江市	683	791	-108	-14%
東大和市	2,215	2,288	-73	-3%
清瀬市	1,670	2,301	-631	-27%
東久留米市	2,943	3,811	-868	-23%
武蔵村山市	1,708	1,754	-46	-3%
多摩市	3,617	4,044	-427	-11%
稲城市	749	830	-81	-10%
羽村市	1,582	1,558	24	2%
西東京市	4,660	6,235	-1,575	-25%
瑞穂町	1,070	1,709	-639	-37%
合計	95,988	105,563	-9,575	-9%

※搬入量は、各組織団体から二ツ塚処分場に搬入された可燃ごみの焼却灰と不燃ごみの合計。

搬入量は昨年と比べて約9%減少しました

多摩地域25市1町から出されるごみは、各自治体が運営する清掃工場で、可燃ごみは焼却灰に、不燃ごみは細かく破碎された状態に処理されます。その後、日の出町にある二ツ塚処分場に運ばれ、埋め立てられます。

平成17年度の1年間で処分場に埋め立てられたごみの容量は、可燃ごみの焼却灰と不燃ごみを合わせて95,988m<sup>3</sup>でしたが、みなさんのごみの減量や資源化などのご協力により、前年度と比べて約9%減らすことができました。

処分場の埋立スペースは限られています  
ごみ削減の努力が不可欠です

一方で、平成10年1月からごみの搬入が始まった二ツ塚処分場は、平成18年11月までに約43%の埋立が終了してしまいました。

循環組合ではエコセメント事業を推進しており、本年7月から施設が本格稼働したことで、可燃ごみの焼却灰はエコセメントの原料にリサイクルされています。これにより、現在埋立処分されるのは不燃ごみだけとなっています。

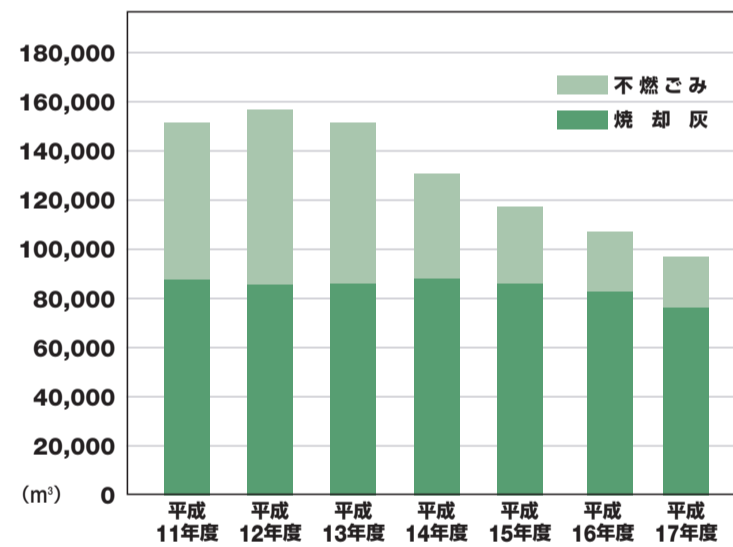
しかし、依然として不燃ごみの埋立は続いています。処分場が満杯となっても、用地確保などの

問題から新しい処分場をつくるのは困難な状況です。限りある処分場を有効に利用していくためには、さらなるごみの減量への努力が絶対に不可欠です。



破碎した不燃ごみが埋め立てられる二ツ塚処分場とエコセメント化施設(平成18年11月撮影)。

### 二ツ塚処分場への搬入状況



## ごみ有料化施策の導入は、ごみ減量につながる大きな要因のひとつです

ごみ有料化は着実に効果をあげています

ごみの量を減らす施策のひとつとして、ごみの有料化があげられます。多摩地域では、平成10年10月に青梅市が有料化に踏み切ったのを皮切りに、現在15市町が有料化を実施しています。

平成10年当時、多摩地域25市1町から出されるごみの量は、可燃ごみ・不燃ごみを合わせて約109万トンありました。それが、有料化をはじめとするさまざまなごみ減量の施策がとられたことで、住民1人が出すごみの平均量が減少しました。平成17年度の実際に出されたごみの量は約98万トン。平成10年度に比べ、多摩地域の人口が21.5万人増加したにもかかわらず、約11万トンものごみ減量を実現したのです。

3Rの理念でさらなるごみの減量を

現在、ごみ問題を解決するキーワードとして“3R”が目注されています。リデュース、リユース、リサイクル、この3つのRをバランスよく実践していくことが、ごみ減量につながるのです。

多摩地域は全国でもトップクラスのリサイクル率(29.4%)となっています。今後、住民一人ひとりの取り組みにより、リサイクルをさらに進めるとともに、リデュース、リユースを推進することで、資源循環型社会づくりのモデルケースを、環境先進地域・多摩から全国に発信していきたいです。



### 多摩地域25市1町 平成10年度と平成17年度可燃ごみ・不燃ごみ量の比較



### ごみ有料化施策導入市町

※導入年月日順

青梅市	平成10年10月1日
日野市	平成12年10月1日
清瀬市	平成13年6月1日
昭島市	平成14年4月1日
福生市	平成14年4月1日
東村山市	平成14年10月1日
羽村市	平成14年10月1日
調布市	平成16年4月1日
八王子市	平成16年10月1日
武蔵野市	平成16年10月1日
稲城市	平成16年10月1日
瑞穂町	平成16年10月1日
小金井市	平成17年8月1日
町田市	平成17年10月1日
拍江市	平成17年10月1日

**3Rとは?**

- リデュース (Reduce)** ごみになるものを減らす
- リユース (Reuse)** ものを繰り返し使う
- リサイクル (Recycle)** 資源として再利用する

## 3Rでごみ減量

### 地域住民の取り組みを紹介

3Rは、ごみや資源の問題を解決するための大事なキーワードです。この理念を実践し、ごみ減量や資源化に積極的に取り組んでいる多摩地域の団体を紹介합니다。

## ごみ・資源物集積所で正しいごみ分別を確認

八王子市・川口町 唐松町会「ごみの出し方 ワンポイントレッスン」

八王子市川口町の唐松町会では16名のリサイクル推進委員がサポート役となり、ごみ・資源物集積所で「ワンポイントレッスン(勉強会)」を実施しています。「生活になくてはならない集積所は、各家庭の台所の一部です」をスローガンに、10年以上活動を続けてきました」と委員の田中圭一さん。

「実際にごみを用意し、その場で分別しながら、ごみの出し方を確認します。そのうえで、朝8時までに出す、当番で掃除する、ノートで連絡するなど、地域のみな

さんとルールを決めています。みんなで決めれば実行するし、分別を徹底することでリサイクルできるものが増え、ごみの減量にもつながります」(田中さん)

参加者の「プラスチック類の区分がむずかしい」という声から、写真付きのボードを手作りして集積所の掲示板に掲げたり、地域の運動会でリサイクルゲームを行うなど、活動が広がっています。地域全体で取り組むことが、一人ひとりの意識の向上につながっている好例といえるでしょう。



ごみ・資源物集積所で行うワンポイントレッスン。



分別の方法を写真で紹介する手作りの掲示版。

## 町ぐるみの活動へと広がる古本市

国立市・一橋大学 エコサークル「環兵衛」

「環兵衛」は、一橋大学商学部4年の田中優希さんが中心となって、昨年4月に発足されたエコサークルです。

同サークルでは「学生にとって身近な存在である教科書のリユースを促進し、学内でのごみ問題の意識を高めたい」と教科書の古本市を開催しています。さらに、学園祭や10月14日に行われた「環境フェスタくにたち」では、市民にも協力を求めて不要な書籍を回収し、古本市を実施しました。昨年は約700冊だった古本の回収が、今年は約3000冊に

増加。寄贈者も8割が市民で、同サークルの活動が町ぐるみのものへと広がっているのがうかがえます。

また、本年4月からは大学生協と共同で、学内で販売するお弁当にリサイクル弁当箱「エコ弁」を導入しました。これまで使い捨てだった弁当箱を、資源として再利用できる容器に替えることで、ごみ減量に貢献。回収率も50%以上と高い数値となっていますが、田中さんは「70%を達成したい」と今後への意気込みを語ってくれました。



「環境フェスタくにたち」では、多くの市民が古本市に訪れ、本を購入しました。



約700冊だった古本の回収が、1年間で3000冊以上に増えました。